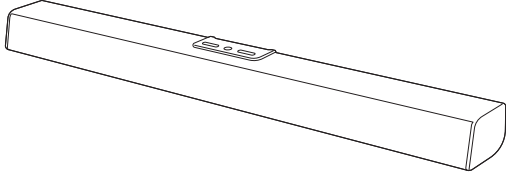


サウンドバースピーカー (Bluetooth・HDMI/ARC対応) 取扱説明書



この度は、サウンドバースピーカー (Bluetooth・HDMI/ARC対応)【400-SP110】(以下本製品)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書では、本製品の使用方法や安全にお取扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前のよくご覧ください。読み終わったあとこの取扱説明書は大切に保管してください。

最初にご確認ください

お使いになる前に、セット内容がすべて揃っているかご確認ください。
万一、足りないものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

セット内容

- ①スピーカー.....1台
- ②専用リモコン(単四電池×2付属).....1個
- ③RCA-3.5mm変換ケーブル(約1.2m)1本
- ④光デジタルケーブル.....1本
- ⑤ACアダプタ.....1台
- ⑥壁掛け用ネジ.....2本
- ⑦コンクリート用アンカー.....2本
- ⑧取扱説明書・保証書(本書).....1部

※欠品や破損があった場合は、品番(400-SP110)と上記の番号(①～⑧)と名称(ACアダプタなど)をお知らせください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがあります。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

安全にお使いいただくために

■絵表示の意味

⚠ **注意** 人がけがを負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容

① 注意していただきたいことを記載しています。

⚠ 注意

- 使用する前に音量を最小にしてください。突然大きな音がすると、聴力を損なう恐れがあります。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けると、聴力に悪影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。
- 内部に燃えやすいものや水などの液体が入った場合は、使用を中止し、お買い上げいただいた販売店または弊社にご相談ください。そのままご使用になりますと、火災や故障および感電事故の原因になります。
- 内部を開けますと、故障や感電事故の原因になります。内部に触れることは絶対におやめください。また、内部を改造した場合の性能劣化については保証いたしません。
- 濡れた手で本製品のケーブル等を抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- 本製品を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。
- ペースメーカーなどの医療機器を使用している方は、医師に相談の上で使用してください。
- 小さいお子様には使用させないでください。



- 本製品を使用したことによって生じた動作障害やデータ損失などの損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品はBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。
- 本製品は一般的な職場やご家庭での使用を目的としています。本書に記載されている以外のご使用にて損害が発生した場合は、弊社は一切の責任を負いません。
- 医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下で使用しないでください。
- 高い安全性や信頼性が要求される機器や電機機システムなどと直接的または間接的に関わるシステムでは使用しないでください。
- 使用しないときは、本製品の電源を切っておくことをお勧めします。本製品は、他のBluetooth機器からの接続要求に応答するため、常に電力を消費しています。

1. Bluetoothについて

- 本製品の使用周波数帯では、産業・科学・医療用機器等のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。
- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運営されてないことを確認してください。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事象が発生した場合には、使用場所を変えるが、速やかに電波の発信を停止してください。

2. 良好な通信を行うために

- 他の機器と見通しの良い場所で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートや人間の身体(接触した状態)などを挟むと、雑音が入ったり通信不能な場合があります。
- Bluetooth対応のヘッドホン・ヘッドセット・スピーカーなどの音楽・音声機器とマウス、キーボードなどを同時に接続し使用した場合は、音楽や音声が途切れることがあります。
- Bluetooth接続においては、無線LANその他の無線機器の周囲、電子レンジなど電波を発する機器の周囲、障害物の多い場所、その他電波状態の悪い環境で使用しないでください。接続が頻りに途切れたり、通信速度が極端に低下したり、エラーが発生する可能性があります。
- IEEE802.11g/bの無線LAN機器と本製品などのBluetooth機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くで使用すると互いに電波障害が発生し、通信速度が低下したり接続不能になる場合があります。この場合は、使用しない機器の電源を切ってください。
- 無線機や放送局の近くに正常に通信できない場合は、使用場所を変更してください。

デバイス名	400-SP110
-------	-----------

3. 特長

- スリムデザインで手軽に高音質/高出力を再現できるサウンドバースピーカーです。テレビのデザイン性やリモコン機能などを阻害することなく設置することができます。
- HDMI/ARC対応で、テレビ放送をサウンドバースピーカーから再生したり、テレビの電源ON/OFFとサウンドバーの電源を連動させることができます。
- HDMI/ARC対応テレビとの接続であれば、テレビの他ポートに接続されたHDDレコーダーやゲーム機の音声もARC機能を利用して、サウンドバースピーカーから出力させることができます。
- 高域専用のツイーター2基と中低音再生用ウーハー4基を搭載し、超スリムなデザインからは想像できない迫力の高音質を再現します。
- Bluetooth対応でスマートフォンやタブレットの音楽をワイヤレスで伝送し高音質で音楽を楽しむことができます。
- 光デジタル入力を搭載しており高音質なデジタル音声信号を再生可能です。
- 3.5mmステレオミニジャック入力にも対応しており様々な音源入力に対応しています。
- ジャンルに合わせて選べる3つのサウンドモードを搭載しています。(3D Theaterモード/BASSモード/音楽モード)

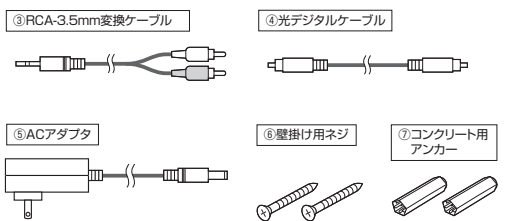
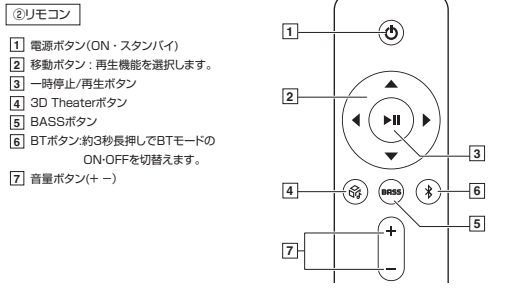
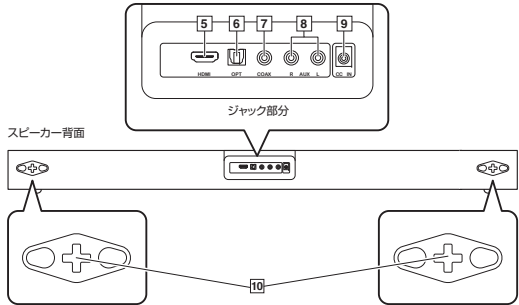
4. 仕様

<スピーカー部>	
実用最大出力	70W (15W×4, 5W×2)
周波数特性	70～20000Hz
スピーカー形式	外磁型スピーカーユニット
スピーカーサイズ	中低音ユニット(直径58mm) 高音ユニット(直径52mm)
ロードインピーダンス	中低音ユニット/6Ω 高音ユニット/4Ω
入力端子	HDMI/HDMI(ARC)×1 デジタル入力/光デジタル(角型)×1、同軸デジタル(COAXIAL)×1 アナログ入力/ステレオミニプラグ(3.5mm)×1
対応音声フォーマット	HDMI入力/2.0ch LPCM2ch(最大24bit 96kHz) 光デジタル入力/2.0ch LPCM2ch(最大24bit 96kHz) アナログ入力/2.0ch LPCM2ch(最大24bit 48kHz)
電源	AC電源(15V/3A)
サイズ	W940×D100×H75mm
重量	約2700g
使用温度範囲	0℃～40℃
使用湿度範囲	40～85% (結露なきこと)
付属品	専用リモコン(単四電池×2付属)×1 RCA-3.5mm変換ケーブル(約1.2m)×1、光デジタルケーブル×1 ACアダプタ×1、壁掛け用ネジ×2、コンクリート用アンカー×2 取扱説明書(保証書)

<Bluetooth部>	
適合規格	Bluetooth Ver.5.0
対応プロファイル	A2DP, AVRCP
対応オーディオコーデック	SBC
通信距離	最大約10m ※使用環境によって異なります。
送信出力	Class 2
対応機種	Bluetooth 5.0以下のBluetoothデバイスに対応 Bluetooth内蔵スマートフォン、iPad/iPhone、パソコンなど

5. 各部の名称とはたらき

- ①スピーカー
 - LED表示
 - ボタン部分
- ②リモコン
 - 1 電源ボタン(ON-OFF)
 - 2 Mボタン(入力モード切替え)
 - 3 一時停止/再生ボタン
短押し:一時停止/再生
約2秒長押し:BT接続端末との切断・再ペアリング
2回押し:イコライザー(EQ)切替(3D Theater、BASS、音楽)
 - 4 音量ボタン(+/-)
短押し:音量調整
長押し:曲送り/戻し
 - 5 HDMI(ARC)ポート: テレビとHDMIケーブルで接続します。
 - 6 光デジタル入力(OPTICAL)
 - 7 同軸デジタル入力(COAXIAL)
 - 8 AUX(3.5mmステレオミニジャック)入力 ※使用しません。
 - 9 AC電源コネクタ: ACコードを接続します。
 - 10 壁掛け穴: 付属のネジに引っかけます。
取付け方については「9.壁への取付け方」をご覧ください。



6. ご使用前の準備

リモコンに電池を入れる

リモコンにより、本製品を離れた場所から操作できます。

- リモコンが有効範囲(6m)内で操作されていても、本製品とリモコンの間に障害物があるとリモコン操作ができないことがあります。
- 赤外線が発生する他の製品の近くでリモコンを操作する場合、または赤外線を使用する他のリモコン装置を本製品の近くで使用すると、誤動作する可能性があります。逆に他の製品が誤動作する可能性があります。

【初めて使用する場合】

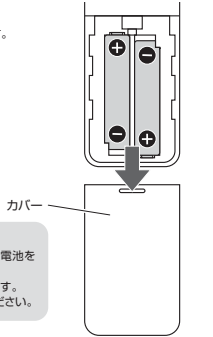
リモコンには単四電池2本があらかじめ取付けられています。

【リモコンの電池を交換する】

- リモコンには、単四電池2本が必要です。
1. リモコン背面のカバーを矢印の方向にスライドし、外します。
 2. 古い電池を外します。
 3. 示されているように正しい極性(+)で新しい電池を入れてください。
 4. カバーを元の位置に戻して完了です。

電池に関する注意事項

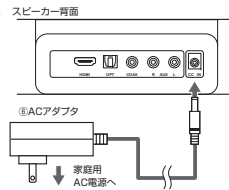
- 種類の違う乾電池や、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池が液漏れを起すと、故障の原因となります。
- 乾電池の保護フィルムを剥がしてから入れてください。



電源を接続する

ACアダプタを本製品のAC電源コネクタに接続してから、スピーカー背面
ご家庭の電源コンセントに差し込みます。

- AC電源コードを接続する前に、他のすべての接続が完了していることを確認してください。



7. 操作方法

基本操作

スタンバイ・電源ON/OFF

- 本製品の電源を入れると、自動的にスタンバイモードになります。
- 本製品またはリモコンのボタンを長押しして電源を入れます。
 - 本製品の電源をOFFにするときは、もう一度電源ボタンを長押ししてください。

自動電源OFF機能 (BT接続時のみ)

約15分Bluetooth未接続状態が続くと、スピーカーの電源がOFFになります。

入力モードを選択

- 本製品のMボタン、またはリモコンの▲▼ボタンを繰り返し押し、目的のモードを選択します。



●本製品前面のLED表示は、現在のモードが使用されているか、現在の設定音量を示します。

LED表示	現在のモード
HI	電源ON
OF	電源OFF
bt	Bluetoothモード
hd	HDMI (ARC)モード
AU	AUXモード
OP	光デジタル(OPTICAL)モード
CO	同軸デジタル(COAXIAL)モード
00~32	音量/33段階(消音00、最大32)

7.操作方法(続き)

音量を調整する

- 本製品またはリモコンの音量ボタン(+)を押して音量を調節します。
- 音を消したい場合は、リモコンの音量ボタン(-)を押して、音量を00にしてください。

- ! 音量を調整している間、LED表示が素早く点滅します。音量が最大/最小レベルに達すると、LED表示が1回点滅します。

イコライザー(EQ)効果を選択

- 再生中にリモコンの3D Teater、BASSボタンを押して、希望のプリセットイコライザーを選択します。

	3Dシアター	BASS
BASS	低音強調	LED表示の右上が点灯
3Dシアター	映画鑑賞におすすめ	LED表示の左上が点灯
MUSIC	音楽鑑賞におすすめ	上側のLED表示なし

*デフォルトではMUSICの状態になります。



8.接続例

Bluetooth接続

初めてBluetooth接続を行うときや、ペアリング情報が削除されたときは、ペアリングを行う必要があります。ペアリングは通信を行う機器(相手機器)に本製品を登録させる操作です。相手機器によりペアリング方法が異なりますので、下記参考例に従ってペアリングしてください。

- ! スムーズなペアリングを行うため一度全ての手順を讀んでから実際の操作を行ってください。途中操作で間違った場合、正常にペアリングできなくなります。その際は一度電源を切り、再度手順を確認してからペアリングを行ってください。

<各機器との接続について>

一度ペアリングすると、機器の電源をOFFにしても設定が残りず、再度電源をONにすると、そのまま使用できます。接続が切断されている場合は、接続またはペアリングを行ってください。

- ! 同時に他の機器と同じプロファイルで接続(使用)することはできません。

Bluetoothで本製品に接続している場合は、メディア機器の音楽を再生出力することができます。

- 本製品とBluetoothデバイスの間の動作距離は約10mです(Bluetoothデバイスと本製品の間に障害物がないこと)
- すべてのBluetoothデバイスとの互換性は保証されていません。
- 本製品とBluetooth機器の間に障害物があると、動作範囲が狭くなります。
- 信号強度が弱い場合、Bluetooth接続が切断される可能性があります。自動的にペアリングモードに戻ります。

- 1.本製品の電源をONにし、MボタンまたはリモコンのBT(Bluetooth)ボタンを押して、Bluetoothモードを選択してください。青色のLEDが点滅します。
- 2.Bluetoothデバイスを起動して検索モードを選択します。Bluetoothデバイスリストに「400-SP110」と表示されます。
*本製品が見つからない場合は、リモコンの一時停止/再生ボタンを押し続けて検索可能にしてください。
- 3.ペアリングリストで「400-SP110」を選んでください。「ペア」の音声プロンプトの後、正常に接続され青色のLEDが点灯します。
- 4.接続したBluetooth機器から音楽を再生します。

- 必要に応じて「パスワードに「0000」を入力してください。
- 2分以内に他のBluetoothデバイスが本製品とペアリングしない場合、本製品は以前の接続に戻ります。
- デバイスが操作範囲を超えて移動した場合、本製品との接続は切断されます。
- デバイスを本製品に再接続したい場合は、動作範囲内に置いてください。
- 接続が切断された場合は、手順に従ってデバイスと本製品を再度ペアリングしてください。

Bluetoothデバイスからの再生方法

接続されているBluetoothデバイスがアド(ンストオーディオディストリビューションプロファイル(A2DP))をサポートしている場合は、プレーヤーを介してデバイスに保存されている音楽を聴くことができます。デバイスがAVRCP(Audio Video Remote Control Profile)もサポートしている場合は、本製品のリモコンを使用してデバイスに保存されている音楽を再生できます。

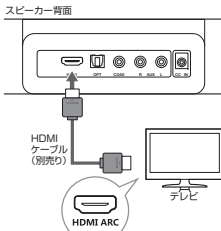
- 1.デバイスを本製品とペアリングします。
- 2.お使いのデバイスで音楽を再生します。(A2DPをサポートしている場合)
- 3.AVRCPをサポートしている場合は、付属のリモコンを使って再生を制御します。再生を一時停止/再開するには、リモコンの一時停止/再生ボタンを押します。曲をスキップするには、リモコンの◀▶ボタンを押します。

HDMI(ARC)接続

*eARCには対応していません。

ARC(オーディオリターンチャンネル)機能を使用すると、1つのHDMI接続を介してARC準拠のテレビからサウンドバーにオーディオを送信できます。ARC機能を楽しむには、テレビがHDMI-CECとARCに準拠していることを確認し、それに応じて設定してください。正しく設定されていない、テレビのリモコンを使ってサウンドバーの音量出力を調整できます。また、テレビの電源と連動して動作します。

本製品のHDMI(ARC)コネクタとARC対応テレビのHDMI(ARC)コネクタをHDMIケーブル(別売り)で接続します。次にリモコンの▲▼ボタンを押してHDMI(ARC)モードを選択します。

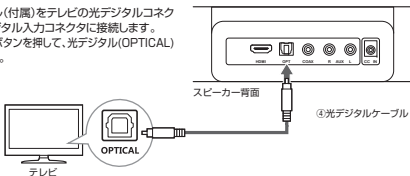


- テレビがHDMI-CECおよびARC機能をサポートしている必要があります。HDMI-CECとARCはONに設定する必要があります。
- HDMI-CECとARCの設定方法はテレビによって異なります。ARC機能の詳細については、テレビ側の取扱説明書を参照してください。
- ARC機能をサポートするHDMI 1.4以上に対応したHDMIケーブルをご使用ください。

- ! ARCの仕様上、音声テレビからサウンドバーに切替わるまで、タイムラグが発生する場合があります。

光デジタル(OPTICAL)入力コネクタを使用する

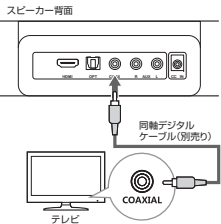
光デジタルケーブル(付属)をテレビの光デジタルコネクタと本製品の光デジタル入力コネクタに接続します。次にリモコンの▲▼ボタンを押して、光デジタル(OPTICAL)モードを選択します。



同軸デジタル入力(COAXIAL)コネクタを使用する

テレビの同軸デジタル(COAXIAL)コネクタと本製品の同軸デジタル(COAXIAL)コネクタを同軸デジタル(COAXIAL)ケーブル(別売り)で接続します。次にリモコンの▲▼ボタンを押して同軸デジタル(COAXIAL)モードを選択します。

- ! HDMI ARC / OPTICAL / COAXIALモードのときに、本製品から音声が出力されず、HDMI ARC / OPTICAL / COAXIALランプがすばやく点滅する場合は、ソース機器(例:テレビ、パソコン、DVDまたはブルーレイプレーヤーなど)でPCM信号出力を有効にする、または変更する必要があります。



OPTICAL / COAXIAL / HDMI ARC 操作方法

- 1.本製品がテレビまたはオーディオ機器に接続されていることを確認します。
- 2.電源ONモードで、本製品のMボタン、またはリモコンの▲▼ボタンを繰り返し押して、目的のモードを選択します。
- 3.オーディオ機器を直接操作(再生)します。
- 4.VOL +ボタンを押して、音量を好みのレベルに調節します。

- ! HDMI ARC / OPTICAL / COAXIALモードのときに、本製品から音声が出力されず、HDMI ARC / OPTICAL / COAXIALランプがすばやく点滅する場合は、ソース機器(例:テレビ、パソコン、DVDまたはブルーレイプレーヤーなど)でPCM信号出力を有効にする、または変更する必要があります。

9.壁への取り付け方法

本製品は壁に掛けて使用することもできます。付属の壁掛け用ネジやアンカーを用いて取付けてください。

■木材の壁に設置する場合

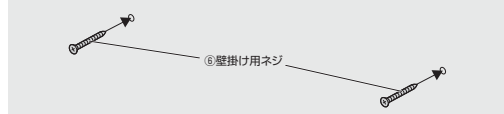
- 用意するもの/電動ドリル、プラスチックドライバー、手袋(ケガ等を防ぐために着用することをおすすめします)

- ! 剛性の弱い壁に取付けた場合、本製品が脱落することがあります。壁の剛性を十分に考慮の上で取付ける場所を決めてください。

- ! 取付ける壁に電動ドリルで下穴を開けます。(直径3mm、深さ約26mm)

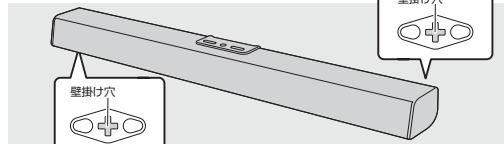


- ! 付属の壁掛け用ネジを壁に取付けます。



- ! 壁掛け穴にネジの頭が掛けられるよう、ネジの頭は壁から少し浮かせてください。

- ! ネジに合わせてスピーカー背面にある壁掛け穴を引っ掛けます。



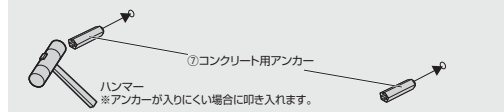
■コンクリートの壁に取付ける場合

- 用意するもの/電動ドリル、ハンマー、プラスチックドライバー、手袋(ケガ等を防ぐために着用することをおすすめします)

- ! 取付ける壁に電動ドリルで下穴を開けます。(直径7mm、深さ約26mm)

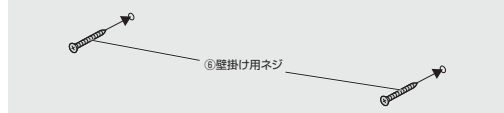


- ! 下穴にアンカーを打ち込みます。



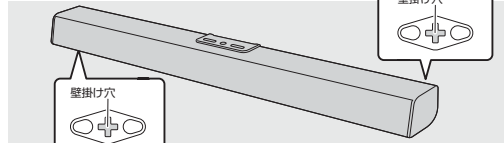
- ! 付属のアンカーはコンクリート用です。石膏ボードには対応していません。石膏ボードの壁に設置したい場合は、別途石膏ボード用のアンカーを用意してください。

- ! 付属の壁掛け用ネジをアンカーに入れ込みます。



- ! 壁掛け穴にネジの頭が掛けられるよう、ネジの頭は壁から少し浮かせてください。

- ! ネジに合わせてスピーカーの壁掛け穴を引っ掛けます。



10.よくある質問

本製品に問題が生じた場合は、下記の点をご確認ください。

Q)電源が入らない。

- 1.本製品のO/Aボタンが、家庭用電源コンセントに正しく接続されているかご確認ください。
- 2.一度ACコードをコンセントから抜き、数分後に再度電源に接続してください。
- 3.他の電源コンセントでお試ください。
- 4.電源ボタンを長押しして電源を入れてください。

Q)音が出ない

- 1.音量を上げます。本製品またはリモコンの音量を上げてください。
- 2.本製品のMボタンを押して別の入力ソースを選択します。

Q)光デジタル・同軸デジタル接続の場合

- 1.テレビ側の「音声出力設定」を行わないと光デジタル出力から音声が出力されない場合があります。テレビ側の取扱説明書をご確認いただき、音声出力が光デジタル出力に切替わっているかご確認ください。
- 2.テレビからの出力をPCMに変更してください。
- 3.テレビが可変オーディオ出力に設定されている可能性があります。音声出力設定が「可変(VARIABLE)」ではなく「固定(FIXED)」または「STANDARD」に設定されていることを確認してください。詳細については、テレビの取扱説明書を参照してください。

Q)リモコンが機能しない

- 1) リモコンと本製品の間の距離を近づけてください。
- 2.電池の極性(+)を指示どおりに入れてください。
- 3.電池を交換してください。
- 4.リモコンを本製品 前面のリモコンセンサー(受光部)に向けてください。

Q)Bluetoothデバイスで本製品(400-SP110)が表示されない。

1. Bluetooth機能がBluetoothデバイスで有効になっていることを確認します。
- 2.本製品とBluetoothデバイスを、再ペアリングします。
- 3.本製品への外部入力信号レベルが低すぎると、15分後に本製品の電源が自動的に切れます。外部機器の音量を上げてください。

11.保証規定

- 1)保証期間内に正常な使用状態で使用の場合に限り品質を保証しております。取扱説明書、本体ラベル、表示等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合、弊社所定の方法で交換いたします。
- 2)次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
 - 1)保証書をご提示いただけない場合。
 - 2)所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字を書き換えられた場合。
 - 3)故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
 - 4)故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - 5)天災地災、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
 - 6)故障や中古販売、オークション、転売などご購入された場合。
- 3)お客様自身による改造または修理があった場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 4)本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとなります。
- 5)本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての補償はいたしかねます。
- 6)本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任を負いかねます。7)修理ご依頼書を書き、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 8)保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 9)保証書は日本国内においてのみ有効です。

保証書		サンワサプライ株式会社	
型番: 400-SP110	シリアルナンバー:		
お客様・お名前・ご住所・TEL			
販売店名・住所・TEL			
担当者名			
保証期間 6ヶ月 お買い上げ年月日 年 月 日			

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。

サンワサプライ株式会社

サンワダイレクト 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL:086-223-6680 FAX:086-235-2381

ver.1.0

CD/AH/RIDaU